

II 基本構想を実現するために

1 協働推進基本方針

基本構想の実現のためには、区と区民とが地域の活動やそれを担う人材を育み、地域の力を高め、支えあい、共につくる地域社会を築いていくことが必要です。

基本構想では、その実現のために、「参加と協働による地域社会づくり」を掲げています。

そこで、基本構想の実現に向けて以下の3つの基本的な方針を定め、それに基づく取組を進めていきます。

方針1 区民参加の促進 ～区民参加による地域社会づくり～

区の計画策定等の検討に当たり、幅広い年代の区民が参加できる機会をつくり、区民の意見を区政運営に生かしていくとともに、区と区民とが身近な地域の課題を共有し、連携・協力して解決することができる地域社会づくりを目指します。

方針2 地域人材の育成と地域活動環境の充実に向けた支援 ～多様な主体の協働による地域の公共的な課題の解決～

区民や地域団体、NPO等が相互に連携・協力して地域の様々な課題に取り組むことができるようにするため、地域社会づくりを担う人材の育成や活動環境の充実に向けた支援を行い、地域で活動する多様な主体の協働により、地域課題の解決と質の高い公共サービスの提供を目指します。

方針3 協働を支える情報発信と、区と区民とのコミュニケーションの充実 ～参加と協働を支える区民とのコミュニケーションの充実～

参加と協働の地域社会づくりを推進するため、区の情報発信機能を見直すなど、必要な時に必要な情報が届くよう積極的に環境整備を進め、区と区民とのコミュニケーションの充実を図ります。

方針 1 区民参加の促進 ～区民参加による地域社会づくり～

現状と課題

- 区と区民や地域団体とが相互に持つ強みを生かしながら連携・協力し、地域課題を解決していくことが必要です。
- 区は、パブリックコメント（区民等の意見提出手続）の実施や各種審議会等への区民参加、区民意向調査や区政モニター制度*などの実施を通して、区民意見を区政に反映しています。
- 区民参加による地域社会の実現には、幅広い年代の区民と意見交換できる機会を設けることなどに取り組み、区民の意見を生かした区政運営を進めることが必要です。

方針に基づく指標の実績と目標値

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
現在ボランティア活動している区民の割合	7.9%	9.1%	20%	区民意向調査による
審議会等への区民の参加割合	42.4%	46.8%	50%	審議会等委員に占める区民の割合(公募区民含む)

主な取組

- ボランティアとの連携・協力による地域課題の解決
 - ・ 区と区民や地域団体がそれぞれの強みやノウハウを生かしながら連携・協力し、防犯・防災活動、住環境の保全活動、高齢者の見守りなどの活動に関わることで、地域が抱える様々な課題解決を図ります。
- 区民参加の機会の拡大
 - ・ 区の計画策定や事業実施の検討などの場面において、より多くの区民が参加できる機会をつくり、区民の区政への参加の充実を図ります。
 - ・ また、このような機会を通じて得られた区民の意見を、区政運営に生かしていきます。

* 区政モニター…区政全般に関する意見・要望等を、組織的、継続的に収集することにより、区政執行の参考とするために募集した18歳以上の区民

方針 2 地域人材の育成と地域活動環境の充実に向けた支援 ～多様な主体の協働による地域の公共的な課題の解決～

現状と課題

- 地域には、豊富な知識と経験を持つ人材が多数います。また、地域団体、NPO等が地域の中で様々な活動をしています。
- 基本構想が目指す「参加と協働による地域社会づくり」のためには、区民や地域団体、NPO等が相互に連携・協力して地域課題を解決する活動を行うことができるよう支援体制を充実する必要があります。
- 区は、地域で活躍する人材育成の取組を充実するとともに、地域で活動する団体、NPO等の活動を地域課題解決に結びつけるコーディネーター機能を強化し、地域社会への参加を促進する必要があります。
- 区の協働提案制度を活用し、より多くの協働事業を創出する必要があります。

方針に基づく指標の実績と目標値

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
すぎなみ地域大学受講生	7,677人	13,872人	16,000人	すぎなみ地域大学受講生の累計数
すぎなみ地域大学講座修了者の地域活動参加率	85.7%	90.0%	88%	講座修了者のうち地域活動参加者÷講座修了者

主な取組

- **地域人材の育成**
 - ・「すぎなみ地域大学」や社会教育センターなどで実施している「地域で活躍する人材」の育成事業の充実を図るとともに、すぎなみ地域大学等での学びを地域社会の中で生かせるよう、講座修了者と地域団体等とを結びつけることにより、区民の地域活動の参加を促進します。
- **協働による地域課題解決と公共サービスの提供**
 - ・区民や地域団体、NPO等の多様な主体と連携・協力し、地域課題の解決と質の高い公共サービスの提供に努めます。
 - ・すぎなみ協働プラザや杉並ボランティアセンターなど、区民や地域団体などの地域活動を支援する中間支援組織間で連携し、地域活動の支援の幅を拡げていきます。
 - ・協働提案制度は、区と地域団体、NPO等が、お互いの立場を尊重し、役割を分担しながら地域の課題解決に取り組む制度です。区からの課題提起や地域の課題解決を踏まえた地域団体、NPO等からの提案について、協働の関係を創り出しながら実現に向けて取り組んでいきます。

方針 3 協働を支える情報発信と、区と区民とのコミュニケーションの充実 ～参加と協働を支える区民とのコミュニケーションの充実～

現状と課題

- 参加と協働による地域社会づくりを推進していくためには、区と区民のコミュニケーションの充実が欠かせません。そのためには、必要な時に必要な情報が伝わる仕組みづくりと区の情報発信の充実が必要です。
- 区では、広報紙やホームページ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス*などを活用して区政や地域の情報発信を行っています。
- また、ICT（情報通信技術）を利用できないなど、様々な理由で情報へのアクセスが困難な区民に配慮した情報提供を行うことも重要です。

方針に基づく指標の実績と目標値

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
広報紙のわかりやすさ	67.4%	59.6%	100%	区民意向調査による
ホームページのわかりやすさ	45.0%	47.8%	80%以上	区民意向調査による
区の情報の到達度	42.1%	36.9%	80%以上	区民意向調査による

主な取組

- 情報発信とコミュニケーションの充実
 - ・ わかりやすく区の情報や魅力を発信し、区民一人ひとりの区への誇りや愛着心を高め区民の区政への参加に結び付けます。
 - ・ 生活様式の多様化やICT（情報通信技術）の進展に対応した新たな情報発信の取組、また様々な理由で情報へのアクセスが困難な区民に配慮した掲示など適切な情報提供により、必要な時に必要な情報が伝わる仕組みづくりと区の情報発信の充実に努めます。
 - ・ 日頃、区政に参加する機会の少ない区民と意見交換する機会の拡充に努めるとともに、情報発信にも工夫を凝らし、区民との協働の機運を高めていきます。

* ソーシャル・ネットワーキング・サービス…人と人の社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービス